日本プライマリ・ケア連合学会
北海道ブロック支部

つながる安心、深まる自信、
もっと広がる探究心

13th 北海道プライマリ・ケアフォーラム
（兼）第11回学術集会

2026年11月14日（土）
時間：12:30～19:10

場所

北海道立道民活動センター(かでる2・7)10階
札幌市中央区北2条西7丁目

基調講演

国民健康保険志摩市民病院
江角 悠太先生

「ハウスキーピング～北海道の安心のために我々にできること」

公式HP

https://primarycare-hokkaido.com/
※事前受付：10月中旬～ 上記HPより/当日受付も可

主催：日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部
共催：日本プライマリ・ケア連合学会学生初期研修医部　北海道支部

「プライマリ・ケア専門医／認定医更新のための単位」
「専攻医のOff-the-jobトレーニング単位」
「プライマリ・ケア認定薬剤師のための認定単位」認定予定

公式Facebook　公式Instagram　公式X

基調講演　17:30～19:00　江角 悠太先生（国民健康保険志摩市民病院）

演題「ハウスキーピング～北海道の安心のために我々にできること」

へき地で働く医療従事者が、今後最も重要な存在となる。それは、利他の精神に溢れているからである。全国どこでも必要とされる職種であるにも関わらず、わざわざ不便と言われる地域に自分や家族の身を置き、そこに暮らす人々の人生を支える。日本全国の中で、北海道は最もへき地面積が広く、へき地度が高い地域であり、へき地最前線で働く方々にただただ、畏敬の念を抱くばかり。その尊い方々に私の口から言えることは何もなく、ただ感謝と敬意をお伝えします。

ワークショップ第１部　13:00～14:20　※以下のうち１つを選んでいただきます。

（AI）「AI多職種臨床シミュレーション -参加型OSCE大会～生成AIを攻略せよ！チームで挑む模擬カンファレンスバトル～」

三原　弘先生（札幌医科大学 総合診療医学講座）

生成AIがあなたの対話力をガチ採点！多職種チームで挑む、未来型臨床シミュレーションを体感せよ。

（在宅看護）「つなぐ・育てる在宅看護：新卒から始める訪問看護と訪問看護師のキャリア形成」

青柳　道子先生（札幌市立大学　看護学部　在宅看護学領域）

新卒から訪問看護を始めるための育成と、訪問看護師として成長し続けるキャリア形成について、ともに考えるワークショップです。

（プライマリ・ケアの会、介、解）「いつもゼロからのスタート――極地、災害、地域で実践する『何でも診る、どこでも創る』マインド」

及川　欧先生（医療法人社団shindo 整形外科進藤病院）

極限の現場で「ないなら創る」を実践してきた歩みは、限られた資源で最善を尽くす精神に基づく。本企画では極地や被災地での医療のリアルを紐解き、ゼロから場を創り出す楽しさと勇気を医療人に届ける。

ワークショップ第２部　14:30～16:00　※以下のうち１つを選んでいただきます。

（行動変容）「ロールプレイで学ぶ動機づけ面接-患者の価値観に寄り添う行動変容支援-」

石谷　巧先生（勤医協中央病院 腎臓内科）、川口　篤也先生（道南勤医協函館陵北病院 総合診療科）

ロールプレイを通じて、明日から使える動機づけ面接のエッセンスを体験的に学びます。

（多職種連携）「つなぐ、つたわる、チームのチカラ ～症例から紐解く、多職種連携の頼り方・交わり方～」

松田　諭先生（ファミリークリニックさっぽろ山鼻）

「あの職種は何を考えているんだろう？」その疑問こそが連携のスタートラインです。誤嚥性肺炎の事例をもとに、各職種の役割を再認識し、意見のすれ違いを乗り越えて一つのチームになる方法を学びます。

（ポリファーマシー）「薬剤師部会presents！対話でひもとくポリファーマシー」

石井　充章先生（北海道科学大学薬学部）、内藤　聡先生（ホシバ薬局西12条店）、齊藤　紗紀先生（なの花薬局札幌二十四軒店）

rPATDや事例から患者の思いに寄り添うポリファーマシー対応を学び、対話を深める企画です。 減薬したいができない課題を現場の経験から紐解きます。薬剤師に限らず、多職種のご参加をお待ちしています。

学術集会並行企画※学生企画　16:10～17:20

【学生企画】あなたの学部、何してる？～学生目線の多職種連携～

学部を越えて学び合い、多職種連携を学生目線で考える企画です。学生の皆様のご参加お待ちしております。

基調講演・ワークショップの抄録は
Facebookまたは、支部会ページにてご確認いただくことができます。
託児所もご用意しております！（事前申込必要）



日本プライマリ・ケア連合学会
北海道ブロック支部